



県立磯城野高等学校

全日制課程 農業科学科（食料生産・動物活用コース）

磯城郡田原本町258
（近鉄田原本駅/西田原本駅から西へ400m）



PICK UP! 先輩からのメッセージ



私は現在、大学で生物分野の研究に取り組んでいます。高校時代は、野菜や作物、果樹など様々な植物と向き合いながら生産を学びました。その経験が、大学での生物調査や研究での課題発見の力となり、充実した大学生活につながっています。

（第16期生 尾崎 正法）

高校で産業動物について多くを学び、愛玩動物に対する視点が大きく変わりました。座学で学んだ基礎知識だけでなく、飼育実習や解体実習をとおして命と向き合った経験が現在の愛玩動物看護師としての自信につながっています。

（第16期生 吉本 夢希）



PICK UP! 特色ある授業 食料生産コース

ブドウのジベレリン処理

カキやモモ、ブドウなどの果樹の生産や販売について学びます。



水田のあぜ塗り

日本人の主食である「コメ」の土づくりから収穫まで学びます。



ジャガイモの定植

イモ類、マメ類、トウモロコシを中心とした農地作物の生産や販売について学びます。



PICK UP! 特色ある授業 動物活用コース

ブタの出産

ブタの出産から出荷までの全ての生産工程を学びます。



ヒツジの毛刈り

毎年、5月頃にヒツジの毛刈りを行い、様々な用途において利用します。



ニワトリのと殺・解体実習

食をいただくことの重みを学び、食のありがたみを学びます。



PICK UP! 学校行事

1年生（農業科学科） 田植え実習の様子

農業科学科の1年生は、全員で田植えと稲刈りを行います。



3年生（動物活用コース） 動物教室の様子

近隣の幼稚園や小学校の児童を招いて「いのちと食の教室」を行っています。



PICK UP! 農業クラブ

プロジェクト発表会

10月に行われる全国大会に向け、7月の県大会、8月の近畿大会を勝ち上がれるように、研究に取り組みます。発表会では、その成果を発表します。



農業鑑定競技会

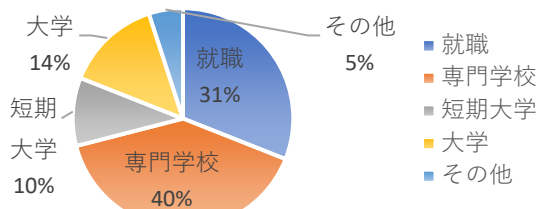
毎年10月に全国大会が行われています。大会では、学校代表として、農業に関する知識・技術を鑑定・判定・診断・審査技術をとおり、実力を競い合います。



進路状況

【近年の本校進路の概況】

近年における卒業生の進路状況は、全体を通して概ね進学（専門学校・大学・短大）60%、就職40%となっています。



【農業科学科の進路の特徴】

就職：農業関係はじめ様々な業種に進んでいます。
進学：農学部を中心とした大学、動物関係の専門学校に進む生徒が多いのが特徴ですが、進学先は多岐にわたります。